

学会発表

標題	学会名	発表年月日
Determinants of unmet needs and impact on ambulatory health care expenditures	ISPOR Asia Pacific 2018	2018年9月10日
CRCの同意補助説明を考える	第17回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2017年9月2日
緑茶抽出物の肝臓に対する安全性:無作為化比較試験の系統的レビュー	第280回疫学懇話会	2017年1月16日
治験業務で使用する電子システムの問題点	第16回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2016年9月19日
施設における実施体制整備の課題:外部支援機関からみた医師主導治験や臨床研究の現状	第13回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2013年9月15日
痛みの評価尺度のあり方を考える -評価におけるCRCの役割の重要性-	第11回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2011年9月24日
線維筋痛症患者における痛みの評価尺度のあり方を考える -CRC から見た評価の重要性-	第3回日本線維筋痛症学会	2011年9月10日
CRCが担う臨床研究の役割:病識の乏しい被験者への対応 ~J-DOIT3の経験を通じて~	第10回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2010年10月1日
「臨床研究に関する倫理指針」が定める補償に対する認識の現状 -補償か?保証か?-	第9回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2009年9月12日
「臨床研究に関する倫理指針」の観点から捉えた実際の臨床研究における問題点	第8回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2008年10月10日
RA疾患活動性の評価における新しい評価システムの構築について	第20回日本臨床リウマチ学会総会	2005年11月4日
三重県における地域密着型SMOとしての取り組み	第37回東海薬剤師学術大会	2004年12月5日

著作・訳書

CRCからみた疼痛薬治験の実施ポイント、痛みのメカニズムとこれからの治療薬・治療法の開発～治療へのニーズ・非臨床試験の適切な実施・エビデンスの得られる臨床試験デザイン～. P145-156, 技術情報協会, 2015.

e-ラーニングプログラム「線維筋痛症」. 財団法人日本リウマチ財団, 2008.

疾患活動性と治療の評価. 線維筋痛症ハンドブック. 88-96, 日本医事新報社, 東京, 2007.